



みゆき

小松市立御幸中学校

学校だより

NO. 13

令和2年10月5日

文責：校長 河南光昭

教室を離れて・・・

2日は、写生会でした。例年なら初夏の新緑を描くことが題材とされていましたが、今回は秋ということで、まだ紅葉には早いようですが、教室を離れてゆったりとした、また大らかな気持ちで写生を楽しみました。

今年の写生会にあたり、美術科の東口先生が授業の中で描き方のポイントについて丁寧に指導され、その練習にも時間を費やしました。遠近法や明暗法はもちろん、絵の具はできるだけ、赤・青・黄色と白を使って黒は使わないとか、影になる色は黒ではなく、黄色と青で緑をつ



くり、そこに少しずつ赤を混ぜて黒っぽい色を出すことなど、写生の極意を伝授していただきました。

皆さん、心が動いた題材を、構図を決め、自分特有のタッチで、鮮やかな色彩感覚で、思うように描けたでしょうか。また、仕上がりはいかがですか・・・。

今回の写生会はある意味、今年度最初の全校での学校行事です。1学期はあらゆる学校行事が中止となり、また、外部の方との接触もことごとく制限されてきました。そんな中で、この日が教室を離れて、開放的な空間で、友人たちと時間を共有する奔放な機会となったのではないのでしょうか。

とりわけ1年生にとっては、学校生活に慣れる間もなく休校となり、学級の親睦を図り、友人との親交を深める機会もないまま2か月が経ちました。6月の学校再開後も、7限授業等で授業に追われる中、やっと始まった部活動で徐々に中学校の生活に馴染むのが精一杯だったと思います。また、夏休みも大きく削られ、あっという間に2学期が始まりました。そういったあわただしさの中では、この日がちょっとした「息抜き」の時間になったのかもしれないね。作品を楽しみにしています。

